

ジム・パリー、ヴァシル・ギルギノフ著「オリンピックのすべて - 古代の理想から現代の諸問題まで - 」大修館書店 2008年4月15日刊を読む

### 1. オリンピックの根本原則

(1) 人間はうまく均整がとれ、発達し、努力する存在である。

(2) そのような人間は、リーダーシップ、倫理、フェアプレーを重んじ、他人には尊厳と尊重、友情をもって付き合い、スポーツが人間の権利であるとする平和なコミュニティに生きている。

P6

### 2. 選手中心の価値志向 - 21世紀のオリンピックムーブメント -

(1) アスリートへの関心とよき価値を生み出そうとする活動が優位な状況を生み出し、

(2) 民主的な構造、透明性と説明責任の文化を形成

(3) 世界中でスポーツを発展させるためにリーダーシップを発揮するような環境をつくり出さなければならない。

P11

### 3. オリンピズムの哲学とは

(1) 対象は、エリート選手だけではなく、誰にでも当てはまる。

(2) 短期間のオリンピック休戦でなく、人生全体に及ぶものである。

(3) 競技に勝利するだけではなく、参加し協力することに価値がある。

(4) スポーツを活動としてだけではなく、望ましいパーソナリティを育み、社会生活を営むことに貢献するものと見なす。

P16

[コメント]